

第52回全国ミニバスケットボール大会 兼  
第40回東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交歓大会  
第36回福島県ミニバスケットボール優勝大会会津地区予選会  
兼 第34回福島民報杯全会津ミニバスケットボール大会  
実 施 要 項

1. 主 催 株式会社 福島民報社・会津バスケットボール協会

2. 後 援 会津若松市教育委員会・福島県スポーツ少年団本部会津支部  
会津若松市スポーツ少年団本部

4. 期日・日程 11月21日（土）, 11月22日（日）, 11月28日（土）, 11月29日（日）  
及び会場

1 日目；あいづ総合体育館（A, B, C）

2 日目；あいづ総合体育館（a, b, c）鶴ヶ城体育館（d, e）

3 日目；鶴ヶ城体育館（F, G）

4 日目；鶴ヶ城体育館（f, g）

開会式は、行わない。

閉会式は、表彰対象チームのみで行う。

ゲームスケジュールは後日連絡いたします。

6. 競技方法 男子、女子ともに、3チームまたは4チームによる予選リーグ戦を行い、上位2チームによる決勝トーナメント戦により1位～4位決定戦までをおこなう。ディフェンスはマンツーマンディフェンスとする。交流戦は行わない。また、10名未満8名以上のチームの参加を認める。  
**大会当日、参加チームのメンバーが諸事情でエントリー人数に満たなくなった場合はゲームは行わず、そのチームは20-0で不戦敗とします。**  
**なお、エントリー人数とは既に報告済の選手人数であり故意に人数を減らし10名未満8名以上のチームとはできない。**

7. 参加制限 チーム構成人員は、コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・アシスタントマネージャー各1名選手15名計19名以内とする。大会にエントリーできるのは、エントリー可能メンバーは9月11日時点でJBA登録及びスポーツ少年団登録を了している選手及びコーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・アシスタントマネージャーとする。  
また、9月11日の時点から選手が退団し、チーム構成人数が10名未満となった場合はJBA抹消登録をすることにより10名未満のチームとしての参加を認める。この場合、必ず抹消登録を行ったことを競技委員長に報告することとする。

8. 観客数の制限 今大会での観客数は、15名以内とします。観客とは、保護者等のチーム関係者・ベンチ入りしない選手で、その内訳はチームに一任する。  
当日、入場する者は14日前から健康チェックシートによる健康状態等の確認を行い、当日は健康チェックシートの提出をすること。  
観客数には、未就学児は含まないことといたしますが、健康状態の確認については保護者が責任をもって行ってください。また、同伴する保護者の健康チェックシートの⑨その他に「未就学児〇人同伴」とご記入ください。

8. 参加申し込み【申し込み先】 〒965-0101 会津若松市北会津町真宮1635  
及び 計画建設係内 小沼 典男  
参加料 TEL 0242-27-2641 FAX 0242-28-6253  
携帯 090-6227-2556  
e-mail ;aizuminiren@ keikakukensetu. co. jp

**【期限】令和2年10月31日（土）必着**

【参加料】 1チーム5,000円  
受付時に納入してください。

## 9. テーブルオフィシャル

会津ミニバスケットボール連盟、参加チームの協力により行う。

10. 競技規則 例日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則による。

11. 表彰 1位、2位に賞状及び盾を、3位に賞状を授与する。

大会を通して活躍した選手に男女5名に優秀選手賞を贈る。

12. 組み合わせ 新人大会の成績を参考に責任抽選とし、事務局で適正に組み合

せを抽選決定させていただきます。後日、組み合わせ表をメール致します。

13. その他 ☆県大会は、令和2年12月12日(土)、13日(日)、20日(日)会津地区で

開催されます。会津地区からは、男子3チーム、女子4チームに出場権  
が与えられます。

☆準備・片付け・清掃について

準備 11月20日(金) あいづ総合体育館  
会場準備は、午後7:00から各チーム2名以上お願いします。  
11月22日(日) 鶴ヶ城体育館  
会場準備は、午前7:00から各チーム2名以上お願いします。  
11月27日(金) 鶴ヶ城体育館  
会場準備は、午後7:00から各チーム2名以上お願いします。

☆2日目、4日目の清掃、片付けに付いては、大会当日各フロアー  
入り口に掲示すると共に各チームの代表に連絡致します。

14. 新型コロナウイルス感染防止対策(今大会では下記に準拠して行う。一部大会主催者により異なる。)

新型コロナ感染防止対策は下記のとおりとする。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策】

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々は  
もちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上  
で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

\*基本方針 福島県およびJBA・FBAのガイドラインによる。

- 下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。
- ・体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある)
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域な  
どへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。
- 健康チェックシートの記入とその管理(各管理者は3ヶ月保管)
- ・入場者とは、大会参加者、審判、家族、スタッフ、協会役員を指す。
- ・協会役員においても、大会主催者への提出をお願いする。
- コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化(各自持参)
- ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- 屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T.Oの取り扱い
- ・1~1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
- ・コート間の観客席は、ステージ側コートで試合を実施するチームにそれぞれ10席を設置する。
- ステージおよびギャラリーでの観客動員制限
- ・ステージは10人程度の観戦を可とする。(他チーム指導者、スタッフ、協会役員が利用)
- ・ギャラリーは50人までの観戦を可とする(ステージ正面を20人、他辺を各15人)。
- なお、ギャラリー使用が認められるのは、試合の当該チームの保護者並びに家族・親戚とする。
- 手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。
- ・出入口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等
- 会場出入口は入り口と出口を分けて導線を作成する。
- 会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきを実施する。
- 握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。
- 試合前のアップは屋外を原則とする。
- 審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。
- コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意するよう周知する。
- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
- ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成をさせる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。
- 試合後のベンチ、T.O、用具、出入口の除菌作業の実施
- ・ボール・T.O除菌→大会スタッフが実施
- ・ベンチ・T.O除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
- ・審判員・ステージでの観戦者への飲料等の準備も実施しない。
- ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。

- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。
  - ・粉末ドリンク作成前にも手洗いと手指消毒を実施するよう周知する。
  - ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
  - 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。
  - \*努力事項 JBAに示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。
  - 1 イベント300人の原則（全校生徒平均600人の2分の1）
    - ・1施設2面での試合実施を可能とする。
    - ・タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内300人以内に努める。
  - 屋内150人の原則（300人以内50%の原則）
    - ・1チームのエントリー数を原則12名までとする。（U12は15名以内）
    - ・ギャラリーでのソーシャルディスタンスの確保に保護者の皆様のご協力をいただく。
    - ・試合間を30分設けることで、退場10分、除菌作業に10分、入場10分の時間を確保し、屋内150人以内に努めます。会場での人の入れ替わりにご協力いただく。
    - ・観客席およびギャラリーの除菌は、観客の方にご協力いただきます。
  - ※ 主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。
  - 観客動員に制限をかけての試合の実施（観客間1～1.5m確保）
    - ・各チームの選手の保護者並びに家族や親族の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、日頃から健康管理を実施するとともに当日の健康に関する不安がないことを条件とします。
    - ・接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。
- ワクチンや特効薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。  
高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを考え、来場はできる限り、避けるよう御協力下さい。

- 大会前2週間以内に発熱（37.5℃以上）があった場合の対応について
- ① 日常的に発熱（37.5℃以上）がある場合、必ず「医療機関で受診する」。
- ② 2週間の期間中に発熱（37.5℃以上）があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目⑨ その他（自由記述）」の枠に内容を記入する。
  - 例1：○月○日通院「自宅療養をして1～2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。
  - 例2：○月○日通院「胃腸炎による発熱」 など
- ③ 大会当日発熱（37.5℃以上）があったり、体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。